

図1 歯科医師という職業に生きがいを感じているか

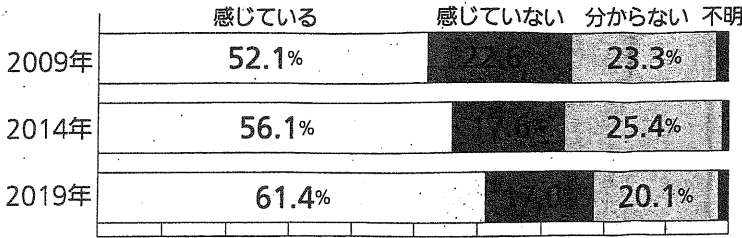
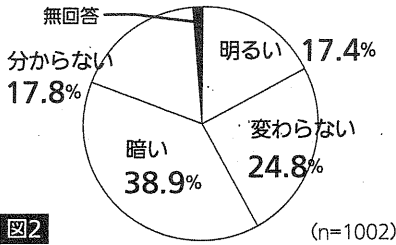


図2 歯科医療の将来をどう展望するか



東京歯科保険医協会(坪田有史会長)は1日、同会が

「歯科医」生きがい「6割

東京歯科保険医協会員調査

東京歯科保険医協会(坪田有史会長)は1日、同会が会員に対して実施した意識調査(N=1002)の結果を機関紙『東京歯科保険医新聞』(598号)に発表した。

これによると、1年間の医療経営は「変わらない」(49.0%)が最も多かったものの、「苦しくなった」(39.7%)は減少傾向、「薬になった」(8.8%)は増加傾向となった。歯科医師という

仕事に生きがいを感じるかを聞いたところ、「感じている」(61.4%)が最も多く、前々回(2009年)から2回連続で増加傾向となった(図1)。

一方で、歯科医療の将来については、「明るい」(17.4%)に対して、「暗い」(38.9%)、「変わらない」(24.8%)となっており、依然として厳しい将来展望が根強い

ことがうかがえる(図2)。アンケートでは、訪問診療や医科との連携などの実施状況、患者とのトラブルの傾向、診療報酬の評価なども質問しており、都内の歯科医院の経営実態をリアルに把握できる内容になっている。調査結果は、後日、協会のホームページで公開予定。